人生を支えるケアの実践(第2回)

生活施設での実践

国は医療や介護保険サービス領域での「効率化」「生産性向上」の手法として、「看取りケア」の施策化を推進しています。あたかも高齢者ケアは「看取り」一直線のようなのです。高齢期をゆたかに支える実践の延長線上に「看取り」もあり、現場はその実践を通じて、福祉サービス、介護の意義を実感してきました。この視点なくして人手確保はあり得ません。介護の現場で、高齢者、家族そして地域での暮らしを介護(ケア)を核にした福祉サービスを通じてゆたかに支えることをめざした実践から、真に求められるケアの本質とあり方を考えます。

報告者① 長谷川浩司(特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷 ケアマネジャー)

報告者② 天野義久(すこやか福祉会本部 統括マネジャー)

日時 7月27日(日) | 4時00分～15時30分

申込不要・どなたでも参加できます。

ミーティング ID: 814 4253 5671 | パスコード: 606202

事務局: 全国老人福祉問題研究会練馬支部

※(お願い)すべての人々にゆたかな高齢期が保障される社会をねがう方々により開催されている研究会です。一期一会も大切にしています。特に事情のある方を除き、「オーディオ」はミュートに、「ビデオ」はオープンにして親しみやすくなごやかな雰囲気でご参加ください。